

エコアクション 21 環境経営レポート

令和 3 年度版

(令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月)



株式会社麻生マイニング

令和 4 年 7 月 7 日発行

目 次

1. 組織の概要	P.3-5
2. 組織図及び認証・登録範囲	P.5
3. 環境経営方針	P.6
4. 当年度及び中期環境経営目標	P.7
5. 当年度の主要な環境経営目標	P.7-8
6. 環境経営計画の実施体制	P.8
7. 運用期間の環境経営目標の実績	P.9
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	P.10
9. 令和4年度の環境経営目標及び環境経営計画	P.10-11
10. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟などの有無	P.11
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.11

1. 組織の概要

事業者名 株式会社麻生マイニング

代表者名 代表取締役 田上 智徳

所在地 本 社 福岡県飯塚市芳雄町 7 番 18 号
田川事業所 福岡県田川市弓削田 2800 番地

資本金 4000 万円

設立年月日 平成 30 年 12 月 7 日

環境管理責任者 橋本 健一

連絡先 TEL 0948-23-5837
FAX 0948-23-1046

E-mail mining-p01@aso-group.co.jp

事業の概要 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業(医療系)
石灰石販売業、セメント生産関連請負業

事業の規模

	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度
売上高	百万円	554	528	551
従業員数	人	12	12	12
事務所面積	m ²	52	52	52
駐車場面積	m ²	700	700	700

当社の事業年度 4 月 1 日 ~ 翌年 3 月 31 日

認証・登録範囲 対象組織:本社
対象活動:産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業
(田川事業所およびその活動の拡大は、2 年後の更新審査の予定)

産業廃棄物収集運搬業の許可状況

産業廃棄物収集運搬業				許可項目(事業の範囲)														その他						
都道府県及び政令都市	積替保管	許可の年月日及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ダスト類(ばいじん)	紙くず	木くず	13号廃棄物	動物残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替保管施設の所在地及び面積許可の条件	
				有	無																			
福岡県	●	H31.3.5 H36.3.4	04000205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							積替保管なし 許可の条件なし
山口県	●	H31.2.25 H36.2.24	03500205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							積替保管なし 許可の条件なし
佐賀県	●	H31.2.18 R 6.2.17	04101205679	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							積替保管なし 許可の条件なし

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可項目(事業の範囲)														その他						
都道府県及び政令都市	積替保管	許可の年月日及び有効年月日	許可番号	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB	廃石綿														積替保管施設の所在地及び面積許可の条件
				有	無																			
福岡県	●	H31.3.5 H36.3.4	04050205679	●	●	●	●	●																積替保管なし 許可の条件なし
山口県	●	H31.2.25 H36.2.24	03550205679	●	●	●	●	●																積替保管なし 許可の条件なし
佐賀県	●	H31.2.18 R 6.2.17	04151205679	●	●	●	●	●																積替保管なし 許可の条件なし

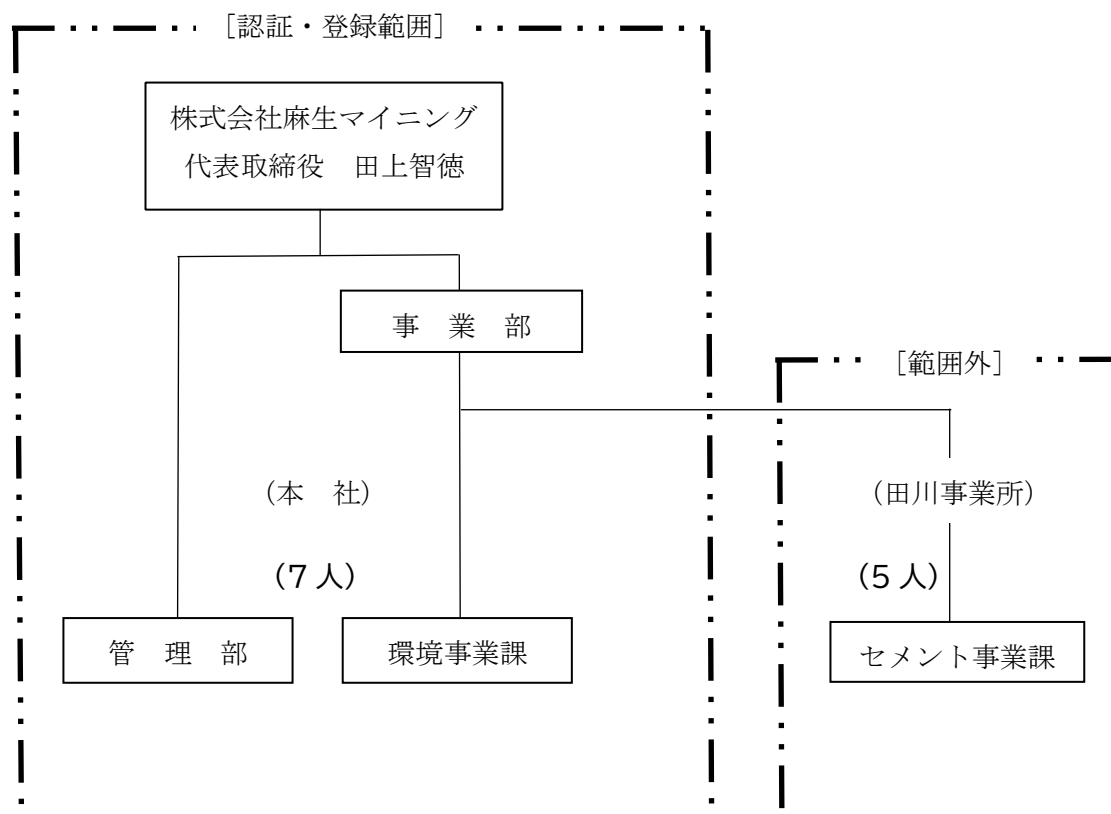
産業廃棄物収集運搬車両の種類と台数

車両番号	車両形式	積載量	保有台数
筑豊 100 さ 78-59	保冷車	2,000kg	1台
筑豊 100 さ 77-59	保冷車	2,000kg	1台
筑豊 100 さ 65-50	保冷車	3,000kg	1台
筑豊 880 あ 5-53	冷蔵冷凍車	350kg	1台

廃棄物収集運搬実績（単位：t）

種 類		令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別管理産業廃棄物	感染性廃棄物	561.1	553.6	607.5
産業廃棄物	廃プラスチック	57.0	53.0	49.0
	ガラスくず及び陶磁器くず	91.8	5.3	4.7
	廃液	0.2	0.2	0.1
	廃アルカリ	0.2	0.2	0.1
合計		624.5	612.2	661.4

2. 組織図及び認証・登録範囲



[田川事業所の認証・登録の拡大は、2年後の更新審査の予定]

3. 環境経営方針

【基本理念】

株式会社麻生マイニングは、地域環境の改善を重要な課題と位置づけ、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬事業の活動を通じて環境への負荷低減に積極的に取り組めます。そのためエコアクション21に基づく環境経営システムを構築・運用することにより継続的かつ着実に環境保全活動を行い、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

【行動指針】

環境経営システムを構築・運用し継続的な取組を進めるため、この行動指針に基づき、環境経営目標及び環境経営活動計画等を定め、実効性のある活動を展開します。

1. 二酸化炭素の排出削減

節電を励行するとともに、エコドライブを実施して収集運搬車のガソリン、軽油の使用量を削減します。

2. 水使用量の削減

節水に努め、水使用量を削減します。

3. 環境にやさしい製品・サービスの採用を進めます。

4. 環境活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。

5. 環境経営の継続的改善に取り組むことを誓約します。

6. 地域社会と良好なコミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。

7. この環境経営方針は、従業員全員に周知するとともに、研修や教育を行い環境保全に向けた意識の向上に努めます。

8. この環境方針は広く一般に公表します。

令和2年6月22日制定
株式会社麻生マイニング
代表取締役 田上 智徳

4. 当年度及び中期環境経営目標

項 目	単位	(基準)	目 標		
		令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	57,281	(1.5%削減) 56,422	(1.5%削減) 56,422	(1.5%削減) 56,422
軽油使用量の削減	ℓ	21,872	(1.5%削減) 21,544	(1.5%削減) 21,544	(1.5%削減) 21,544
ガソリン使用量の削減	ℓ	367	(1.5%削減) 361	(1.5%削減) 361	(1.5%削減) 361
廃棄物排出量の削減	m ³	2.16	(7.0%削減) 2.01	(7.0%削減) 2.01	(7.00%削減) 2.01
水使用量の削減	m ³	21.0	(7.5%削減) 19.4	(7.5%削減) 19.4	(7.5%削減) 19.4
燃費の向上 (軽油使用車両)	km/ℓ	7.24	(0.8%向上) 7.29	(0.8%向上) 7.29	(0.8%向上) 7.29

1. 電気使用量は、事務所賃借料に含まれているため、取り上げておりません。
2. 水使用量は、駐車場の水使用量のみと致します。
(事務所水使用量は、賃借料に含まれているため、取り上げておりません。)
3. 化学物質は未使用のため、目標に取り上げておりません。

5. 当年度の主要な環境経営計画

5-1 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- ・エアコン設定温度を 27℃/20℃(夏期/冬期)とする。

- ・パソコンをエコモードに設定。
- ・夏期は、ブラインド等で熱の遮断。

(2)燃料使用量の削減

- ・車のアイドリングストップの実施。
- ・回収ルートの検討・見直しの実施。
- ・車のエコドライブの実施。
- ・積載オーバーをしない。

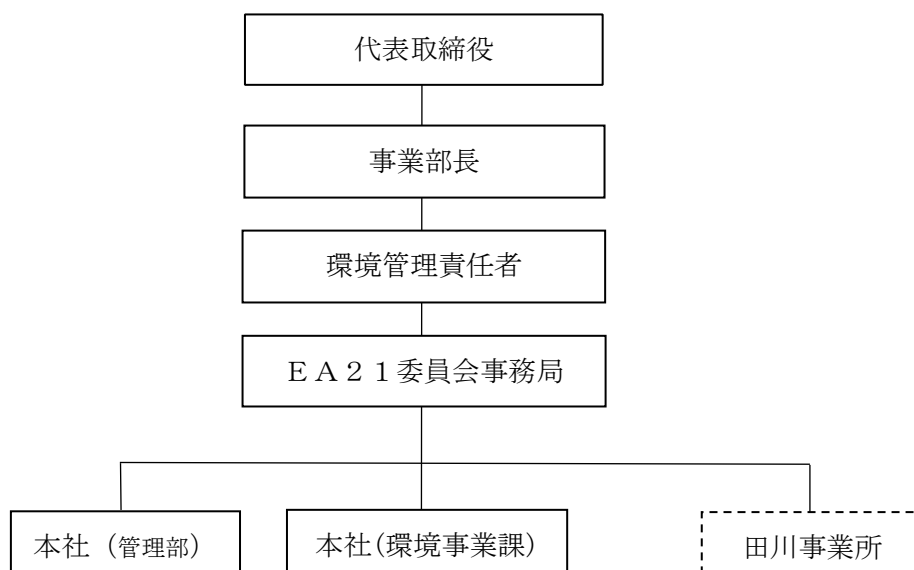
5-2 廃棄物排出量の削減

- ・事務所で使用した不要用紙は、裏紙をメモ紙等に再利用、控え資料のコピー用に利用、シュレッターにかけて再資源化を実施。

5-3 水使用量の削減

- ・手洗い、うがい時の節水励行。
- ・蛇口締め忘れ再確認励行。
- ・洗車時の節水。

6. 環境経営計画の実施体制



7. 運用期間の環境経営目標の実績

令和3年度の目標に於ける実績は、下記の通りでした。

項目	単位	令和1年度	令和3年度	令和3年度	目標の達成率 (目標/実績)
		(基準)	目標	実績	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	57,281	(1.5%削減) 56,421	44,683	126.2%
軽油使用量の削減	ℓ	21,872	(1.5%削減) 21,543	17,210	125.2%
ガソリン使用量の削減	ℓ	367	(1.5%削減) 361	121	298.3%
廃棄物排出量の削減	m ³	2.16	(7.0%削減) 2.01	2.61	77.0%
水使用量の削減	m ³	21.0	(7.5%削減) 19.4	5.0	388.0%
燃費の向上 (軽油使用車両)	km/ℓ	7.24	(0.8%向上) 7.29	7.88	92.5%

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

(1) 電気使用量の削減 : 結果 達成(数値評価なし)

本社事務所は、建物の一部を間借りしており、電気料(及び水道代)も賃料に含まれているため、数値化されておられません。よって、数値目標はありませんが、事務所内のスタッフは、電気使用量の削減に留意し、行動を実践しております。

(2) 燃料の使用量削減 : 結果 達成

軽油使用量の目標を 21,543Lとしておりましたが、17,210Lの実績となり、目標達成率は 125%となりました。達成要因は、ドライバーによるエコドライブの実践と、運搬ルートの見直しにより走行距離が減少したこと、また、老朽化した車両を 1 台、新車に入れ替えたことです。ガソリン使用量は、目標を 361Lとしておりましたが、121Lの実績となり、目標達成率は 298%となりました。達成要因は、ガソリン車両による運搬頻度を減少させたことです。

(3) 廃棄物排出量の削減 : 結果 未達成

事務所で排出されるごみの削減計画目標を 2.01m³としておりましたが、2.61m³の実績となり、目標達成率は77%となりました。未達成の要因は、不要用紙の裏紙を利用し、不要用紙をシュレッターにかけ再資源化に努めましたが、飲食その他で発生する廃プラ容器類が増加したことが要因になったようです。

(4) 水使用量の削減 : 結果 達成

駐車場における水使用量は、目標を 19.4m³としておりましたが、5.0m³の実績となり、目標達成率は 388%となりました。達成要因は、洗車中の水の出っぱなしにしないことを徹底し、また、濡れ雑巾によるふき取り洗車を推奨し、節水に取り組んだことです。

本社事務所は、水使用量が数値化されておられません。事務所のスタッフ全員が、日常的に節水を励行しております。

9. 今年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標は、前述【4.当年度及び中間経営目標】の中期経営目標(令和 4 年度)の通りとする。

次年度の環境経営計画(取組)は、以下の通りとする。

9-1 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- ・エアコン設定温度を 27℃/20℃(夏期/冬期)とする。
- ・パソコンをエコモードに設定。
- ・夏期は、ブラインド等で熱の遮断。

(2)燃料使用量の削減

- ・車のアイドリングストップの実施。
- ・配達ルートの検討・見直し。
- ・車のエコドライブの実施。
- ・積載オーバーをしない。

9-2 廃棄物排出量の削減

事務所で使用した不要用紙は、裏紙をメモ紙等に再利用、控え資料のコピー用に利用、シュレッターにかけて再資源化を実施。

9-3 水使用量の削減

- ・手洗い、うがい時の節水励行。
- ・蛇口締め忘れ再確認励行。
- ・洗車時の節水(洗車時の出しっぱなしをなくす)

10. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟などの有無

環境関連法規などの一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等もありません。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境管理責任者が中心となり、全員で目標を達成するための行動を実践し、令和 3 年度も、前年度に引き続き、ほとんどの目標を達成することができました。主な達成要因としては、運搬ルートの見直しによる走行距離減少と、老朽化したトラックを新車に入れ替えたこと、また、ドライバーによるエコドライブが定着したことが、大きく寄与しているものと思われます。今後も気を緩めることなく、目標達成に向けて、取り組んでください。